



愛しても、愛されてもいけない二人。マラバー洞窟の中で何が起ったのか。

DAVID LEAN S. PROD. E. M. FORSTER'S

A PASSAGE TO INDIA

デビッド・リーン監督作品

# インドへの道

第84年度 アカデミー賞

- 助演女優賞 (ベッキー・アッシュクロフト)
- オリジナル作曲賞 (モリス・ジャール)
- 第42回ゴールデングローブ賞・外国映画賞ほか
- ニューヨーク映画批評家協会賞・作品賞ほか
- ナショナル・ボード・オブ・レビュー賞・監督賞ほか

ベッキー・アッシュクロフト ■ ジュディ・デービス ■ ジェームス・フォックス ■ アレック・キネス ■ ナイジェル・ハバース ■ ビクター・バナジー ■ マイケル・カルバー ■ アン・ファーバンク ■ サンドラ・ホッス

製作/ジョン・ブラボーン&リチャード・クッドウィン ■ 監督・脚色・編集/デビッド・リーン ■ 原作/E・M・フォスター ■ 音楽/モリス・ジャール(サントラ監製EM) ■ 撮影/アーネスト・ディ ■ 配給/松竹富士株式会社 ■ カラー作品 ■ GOLDEN STAR ■



# インドへの道



配給・松竹富士株式会社



◎世界最高の信頼  
巨匠デビッド・リーンが、  
14年の沈黙を破った!

「アラビアのロレンス」「旅情」「ドクトル・ジバゴ」、そして「戦場にかける橋」……。デビッド・リーンの名は、常に映画史上屈指の傑作とともにあった。アカデミー賞ノミネート数56個、うち獲得数27個。巨大なスケールの中に繊細緻密な人間心理を描き続けて映画界最高にランクされる巨匠中の巨匠。その彼が「ライアンの娘」(70)以来、14年の沈黙を破った!

「インドへの道」——それは悠久の大地インドをバックに、巨匠が世界の観客に叩きつける巨大なメッセージ。

原作はイギリスの「風と共に去りぬ」とも評されるE・M・フォースターの同名ベストセラー小説。本年度アカデミー賞において受賞作「アマテウス」と最後まで評価を二分したリーン監督雄渾のライフワークだ!



◎出逢ってはならなかった二人……  
マラバー洞窟で果して何が起きたのか!

第一次大戦後。若いイギリス女性アテラが、現地勤務の婚約者をたずねて、その姑となるべき老婦人を伴い、インドへ向けて旅立った。初めて体験する東洋の神秘に胸躍らせるアテラ。だが、環境のあまりの違いは、若い娘の心を次第に不安に落としてゆく……。そんな彼女たちの前に現われたのが、善意のインド人医師アジズ。だが、アテラとアジズの間には起きたある「トラブル」が、インドとイギリスという異民族同士を、抜きさしならない激突の淵へと運んでいく。現場は、ミステリアスな観光名所として名高い有名なマラバー洞窟。果してそこで何が起きたのか——!

フォースターの原作をリーンが自ら脚色、演出、そして編集も担当。異文化の出会い、自然、内面心理。視覚的スペクタクルの中にリーンの世界のすべてが凝縮されている。



◎世界の名優、最高のスタツフが  
ベストワークを展開した!

キャストは、異文化との出会いに、女性心理の脆さをさらけ出すアテラに、「わが青春の輝き」などのオーストラリア映画界の新進演技派ジュディ・デービス。「事件」を契機に反英意識を増大させてゆくインド人医師アジズに「チェスをする人々」のビクター・バナジー。アテラの婚約者の母であるモア夫人にこの演技で本年度アカデミー賞助演女優賞に輝く「尼僧物語」のペギー・アシュクロフト。他に「戦場にかける橋」のアレック・ギネス、「グレイストーク」のジェームズ・フォックスら最高の名優たちが勢ぞろい。

南インド・バンガロールを中心に長期一年間に渡って敢行された現地ロケは、あの「ロレンス」の砂漠にも匹敵する感動的成果。さらにロイヤル・フィルを指揮したモリス・ジャールの壮大なスコア。製作費44億円。10年に一本、いや20年に一本のエポック・メイキングな超大作だ——。

8月3日(土)より世紀のロードショー

歌舞伎町地球会館B1

新宿ジョイシネマ

(209)  
6180

◆特別鑑賞券〈一般1200円/学生1100円〉好評発売中

上映時間 日・祝 9:00 平日 12:10 3:20 6:30